

## 第5章 生きがづくり・社会参加の促進

### 1 生きがづくりの支援

生活が豊かで充実しているという実感は、その人なりに意味のある時間を過ごせた時に得られるはずで、それが何であるかは、趣味、学習、仲間との活動、仕事、交流など、人によってさまざまです。

本市では、生涯学習や老人クラブなどの活動支援を通じて、多くの高齢者に生きがづくりの場を提供していきます。

#### (1) 高齢者の生きがいと健康づくり推進事業

高齢者がいきいきと自分らしく充実した生活が送れるように、様々な趣味や特技を生かした創作活動、学習活動、世代間交流、スポーツ文化活動、ボランティア活動などを積極的に推進していきます。今後も、地域社会の中で、高齢者がさまざまな活動に参加できるよう、関係団体との連携を図りながら事業を継続していきます。

#### (2) 生涯学習の推進

本市では、自己実現を目指し、生涯を通して主体的な学習活動が続けられるよう市民の生涯学習を推進しています。

高齢者が何歳になっても学びの場に積極的に参加し、心豊かに暮らせるよう、高齢者向けの公開講座の開催をはじめ、自主学習グループ活動の育成・支援、趣味・創作活動作品展等の開催など地域における多種多様な生涯学習活動を通じた生きがづくりの機会を提供しています。

今後も、より多くの高齢者の参加につながるよう、各事業が高齢者のニーズに配慮した実施内容や開催となるよう工夫し実施していきます。

#### (3) 生涯スポーツ・レクリエーション活動の促進

高齢者がスポーツに親しみながら、健康増進と相互の親睦を図ることを目的に、各種スポーツ大会を開催しています。

今後も、高齢者への生きがづくりの一環として高齢者に適した軽スポーツやファミリースポーツ等の普及を図るとともに、多種多様なスポーツ、レクリエーション活動を通じた健康づくりとふれあい交流の機会の拡充に努めます。

## (4) 敬老事業

高齢者の健康と長寿を祝うため、敬老会開催補助金交付事業や敬老祝金支給事業を実施しています。

敬老祝金支給事業については、平成28年度より、敬老祝金を満80歳と満100歳の方に支給しています。80歳に関してはその年度によって対象者数にばらつきがあるものの、100歳に関しては増加すると見込まれます。

### ●事業の利用実績と見込み

単 位	平成 27 年 度	平成 28 年 度	平成 29 年 度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度
敬老祝金支給人数 (人)	720	514	437	513	404	471
満 77 歳 (人)	358					
満 80 歳 (人)	182	498	420	488	377	428
満 88 歳 (人)	149					
満 99 歳 (人)	10					
満 100 歳 (人)	12	16	17	25	27	43
満 101 歳以上 (人)	9					

## 2 高齢者の力を活かせる社会参加の促進

本市の未来が明るく活力に満ちた高齢社会であるためには、高齢者自身が自らの知識や経験を積極的に活かせる機会があることが重要です。高齢者が地域の中で活動できる場の充実に努めます。

### (1) 老人クラブ活動の促進

老人クラブは、市内各地域において組織され、自主的な活動を行っている団体で、地域に根ざした社会参加活動や生きがいづくりに関する活動や各種の奉仕活動を行っているほか、男鹿市老人クラブ連合会が組織されており、「豊かで生きがいのある老後を楽しみ、高齢者がともに手を携え、健康で文化の香り高い高齢社会を作る」ことを目標に、年間を通じて趣味・文化・スポーツなどの活動が行われています。

地域づくりや社会貢献への積極的参加は、生きがいづくりだけではなく、心身の健康の維持にもつながることから、明るい長寿社会づくりと魅力ある老人クラブ活動が展開できるよう、支援が必要です。

#### ●老人クラブの活動実績と見込み

	平成 27 年 度	平成 28 年 度	平成 29 年 度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度
クラブ数（団体）	65	61	53	53	53	53
会 員 数（人）	1,962	1,657	1,538	1,538	1,538	1,538
登 録 率（％）	16	14	13	12	11	10

※各年度末現在

### (2) 高齢者の就労・就業の促進

近年、高齢者の人口が増加していますが、このことは、様々な経歴を有する貴重な人材が地域に沢山いることに他なりません。これらの高齢者が、それぞれの能力や経験を生かして積極的に社会参加し、地域社会等で様々な役割を担い、活躍することが期待されています。

このため、高齢者の働く意欲に応じた就労の場を確保するとともに、地域活動への参加を促進しながら、高齢者の活躍の場を広げることが重要です。

本市では、高齢者の長年培ってきた能力や経験を活かせる場の提供をはじめ、収入の確保、生きがいづくりなどを目的に、「シルバー人材センター」を設置しています。

登録制により、簡単な大工仕事、外交業務、集配業務、一般事務、屋内外の軽作業、庭木・盆栽の手入れ等の仕事の斡旋を行っています。

今後も、シルバー人材センターを中心とした就労支援の充実に努めます。また、

団塊の世代が高齢期を迎え、高齢者の「働く意欲」は今後さらに高まることも予想されるため、高齢者の雇用促進を目的として国や公共職業安定所などが実施する、再就職促進セミナー、職業能力開発や各種助成措置等の周知を図り、高齢者の就業機会の拡大に努めます。

### **(3) ボランティア活動等の促進**

市内には、多数の市民団体があり、健康、福祉、生涯学習、環境、スポーツなど各種の分野で主体的に活動しています。本市では、社会福祉協議会が中心となって、これら各団体・組織との連絡・調整、活動支援を行っています。

団塊の世代が高齢期を迎え、今後はより多くの高齢者のボランティア活動への参加が期待できます。これからさらに高齢化が進展していく状況において、高齢者同士が、互いの話相手や相談相手となり、見守り合い、支え合うということも非常に重要となります。

今後も、市民団体等の活動の支援と高齢者の参加の促進を図り、高齢者の社会参加と地域福祉の向上に努めます。

### **(4) 世代間交流の促進**

高齢者が長年にわたり培ってきた知識や経験は、本市の文化であり大切な財産でもあります。近年の少子化や地域のつながりの希薄化などにより世代を越えた交流は少なくなりつつある中で、高齢者を通じて、知識や過去の体験、地域の伝統文化の継承に努めることが重要です。

また、世代間交流には、単に高齢者の知識や経験を文化として後世に受け継ぐだけでなく、人と人とのつながりが地域のつながりへと発展することも期待されます。そのため、高齢者と幼年世代のみならず、世代を越えてすべての市民が支え合える地域の実現を目指し、地域における世代間交流を推進していきます。